

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 II・III 】
2 実施対象者	下妻市立大宝小学校全学年児童225名，保護者，園児22名，
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（オリンピック・パラリンピック教育講演会，保護者授業参観「1/2 成人式」における活動報告会）</p> <p>③ その他（全校集会，特別支援学校との共同学習）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（県西ブロック授業研究会におけるPR活動）</p> <p>② その他（下妻市国体推進室へ，茨城国体「応援うちわ」の贈呈）</p>
4 目標 (ねらい)	○ 2019「いきいき茨城ゆめ国体」，2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて，自分たちがどのように関わっていくか考え，すすんで応援活動に取り組むとともに，実践活動を通して，「おもてなしの心」と「ボランティア精神」の醸成を図る。
5 取組内容	<p>(1) 第4学年 総合的な学習の時間（全38時間） 「わたしたちの茨城国体 ～茨城国体サポーターになろう～」</p> <p>① 国体について調べよう（14時間）</p> <p>② 国体サポーターになろう（12時間）</p> <p>③ 広めよう！わたしたちの茨城国体（12時間） 「茨城国体サポーターになろう」を中心テーマとして，茨城国体を盛り上げるために自分たちにできることを考え，応援グッズの作成や，他学年の児童，保護者，来校者や地域へのPR活動，自分たちが作成した応援グッズを配付する活動等を行った。</p> <p>(2) オリンピック・パラリンピック教育講演会（2時間） 「グローバルマナーとおもてなしの心」 講師：江上いずみ先生 オリンピック・パラリンピック教育講演会を開催し，「グローバルマナーとおもてなしの心」をテーマに，筑波大学客員教授 江上いずみ先生にご講演いただいた。</p> <p>(3) 第6学年 総合的な学習の時間～特別支援学校共同学習～（2時間） 「特別支援学校の友達とボッチャに挑戦しよう」 県立下妻特別支援学校との共同学習において，パラリンピック種目である「ボッチャ」を体験し，交流を深める活動を行った。</p> <p>(4) 第4・5学年 総合的な学習の時間（各2時間） 「オリンピック・パラリンピックサポーターになろう」 茨城国体サポート活動の発展として，オリンピック・パラリンピックにどう関わっていくか話し合い，それに基づいて実践活動を展開した。</p>

	<p>第4学年実践活動：集会活動等におけるPR活動の計画立案 第5学年探究活動：パラリンピックの意義について考える活動</p> <p>(5) 茨城国体、オリンピック・パラリンピック応援活動報告会（1時間） 第4学年の授業参観「二分の一成人式」において、茨城国体、オリンピック・パラリンピック開催に向けて、自分たちが取り組んできた応援活動についての報告会を行った。</p> <p>(6) 茨城国体、オリンピック・パラリンピック応援集会（全校集会）</p>  <p>4年総合 わたしたちの茨城国体 来校者に応援グッズをプレゼント 国体推進室に応援うちわ贈呈</p> <p>オリ・パラ教育講演会（全学年） 特別支援学校交流「ボッチャ体験」 応援活動報告会</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリピック・パラリンピック教育講演会では、私達が身に付けるべき「グローバルマナー」について、また、「おもてなしの心」に通じる「心づかい」や「思いやりの心」の大切さについて、ロールプレイ等を交えながら、深く学ぶことができた。 ○ 様々な実践活動を通して、「自分たちの力で茨城国体を盛り上げたい」という思いを深めることができた。児童一人一人が、スポーツを通して、人々がつながることの素晴らしさに気付くことができた。 ○ 「ボッチャ」を通じて、特別支援学校の児童との交流を深めるとともに、障害のある人（肢体不自由者）との関わり方や相互理解の在り方、また、パラリンピック競技についての理解を深めることができた。 ○ 下妻市教育委員会生涯学習課国体推進室に協力を依頼し、連携を図りながら取組を行った。国体に関する情報提供、茨城国体イメージキャラクター「いばラッキー」の活用、応援グッズ作成やその活用方法等について、児童の主体的な活動を支援することができた。また、国体推進室の職員をGTとする授業を2回実施した。その授業の様子や本校の取組について、下妻市のHPや下妻市議会だより、茨城新聞等に掲載され、茨城国体のPRにもつながった。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下妻市教育委員会生涯学習課国体推進室との連携による授業づくり ○ 児童の主体的な活動による茨城国体応援活動
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演依頼や各種事務手続き（申請書・報告書等）の簡略化
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年、5学年において、総合的な学習の時間における「茨城国体応援活動」を継続して実施し、2019 茨城国体、2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたスポーツ気運の向上を図る。